

今、何の病気が流行しているか！

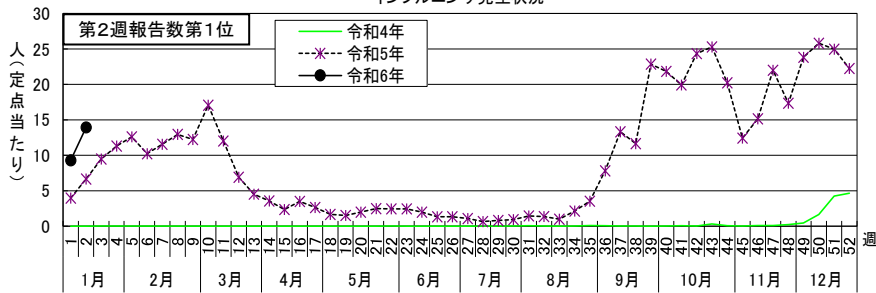
【感染症発生動向調査事業から】

令和6年1月8日（月）～令和6年1月14日（日）〔令和6年第2週〕の感染症発生状況

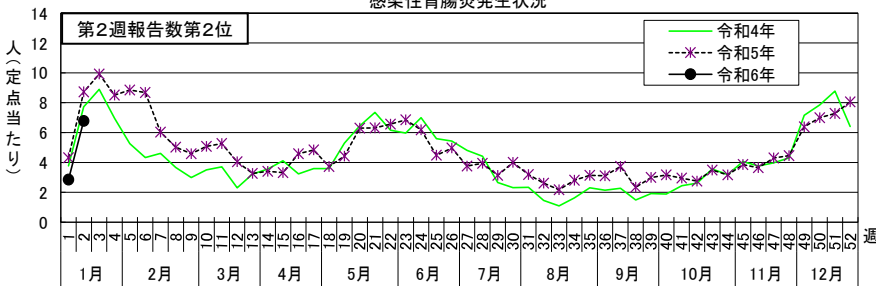
第2週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) インフルエンザ 2) 感染性胃腸炎 3) 新型コロナウイルス感染症でした。インフルエンザの定点当たり患者報告数は13.95人と前週（9.29人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は6.78人と前週（2.86人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。新型コロナウイルス感染症の定点当たり患者報告数は6.30人と前週（3.75人）から増加しました。



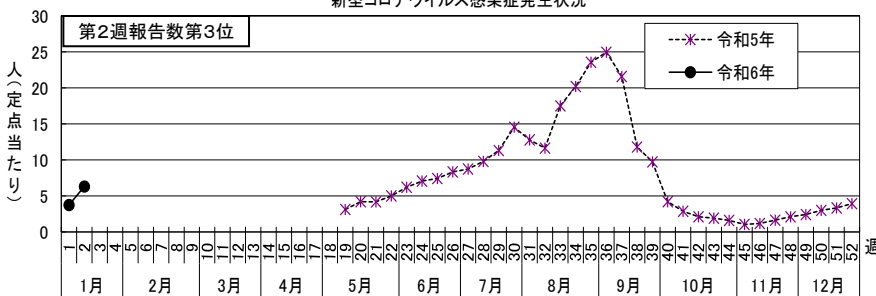
インフルエンザ発生状況



感染性胃腸炎発生状況



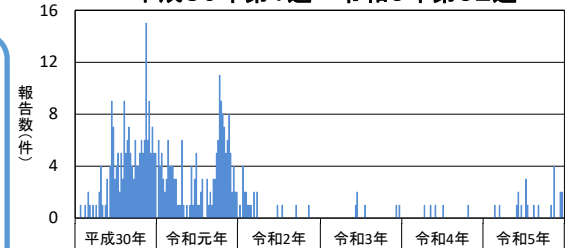
新型コロナウイルス感染症発生状況



こんな病気にも気を付けて！～百日咳～

百日咳は、特有のけいれん性の咳発作等が現れる細菌感染症です。川崎市では、新型コロナウイルス感染症の流行開始以降、令和3年は6件、令和4年は5件と報告数が減少していましたが、令和5年は21件と再び増加しました。百日咳は年齢を問わず感染しますが、乳児期早期に感染すると、呼吸停止等の重篤な症状を起こし、死亡する場合があります。予防にはワクチン接種が有効ですが、新型コロナウイルス感染症の流行による受診控え等の影響で、未接種のまま感染し重症化した事例も報告されています。定期予防接種のスケジュールを確認し、対象期間内に百日咳含有ワクチンを必ず接種しましょう。

川崎市における百日咳の発生状況
平成30年第1週～令和5年第52週



百日咳とは？

【感染経路】

咳やくしゃみ等による飛沫感染、接触感染

【潜伏期間】

通常5～10日間（最大3週間程度）

【主な症状】

- ①カタル期：5～10日間の潜伏期間の後、かぜ様症状で始まり、次第に咳の回数が増えて程度も激しくなる。
- ②痙咳期：短く激しい咳が連続して起こり、息を吸う時に笛のような音が出る特有の咳発作がみられる。
- ③回復期：激しい咳が消失した後、発作性の咳が続く。

【予防方法】

百日咳含有ワクチンの接種（DPT-IPV等）

